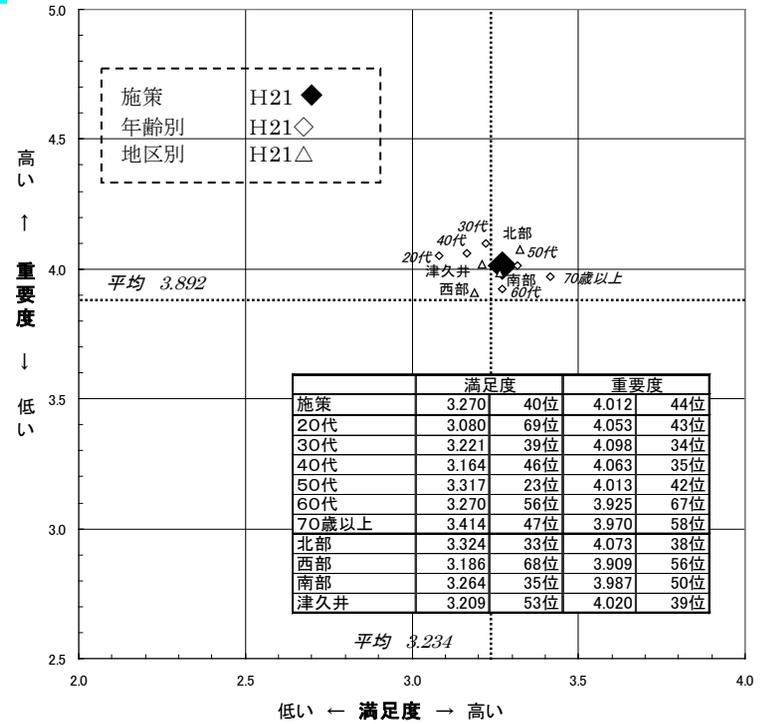


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.27で全119施策の中で40番目。
- 重要度は4.012で44番目である。
- 改善要望度は0.059で54番目である。

自然に配慮した河川環境の創造



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

| 視点の種類 | 評価基準・着眼点 | 評価点 | H20評価点 | 前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由 |
|-------|--|-------|--------|--|
| 有効性 | 各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している | ④ 2 1 | ④ 2 1 | |
| 効率性 | 最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している | ④ 2 1 | | |
| 市民満足度 | 市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している | ④ 2 1 | ④ 2 1 | |
| 合計 | | 42 8 | | 評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) —A(9点以上) —B(8点・7点・6点・5点) —C(4点以下) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下) |
| | | | | 1次評価 A |

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

| | |
|-----|---|
| 課題 | 平成18年、国において多自然川づくり基本指針が策定され、河川管理全般を視野に入れた川づくりが必要となったことにより、河川整備から維持管理までを市民協働で行うことが必要となる。また、それに伴う財源の確保が必要となる。 |
| 解決策 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画段階から市民協働(ワークショップ形式等)を取り入れ、維持管理においては街美化アダプト制度等を導入し事業を進める。 ・国、県からの補助金等の確保を図る。 |

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

| | |
|---|-----------|
| ハード整備により目的が達成される施策であるため、効率性の評価は行わない。(評価は昨年度のA=6点以上、B=5、4点、C=3点以下で行う。) | 2次評価 A |
|---|-----------|

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

| | |
|--|-----------|
| | 3次評価 A |
|--|-----------|

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向